



センターニュースをお読みの皆様へ

ひまわり市場

八ヶ岳のふもと、山梨県北斗市にあるスーパー「ひまわり市場」は、県外から多くの人々がやってきます。社長の那波秀和さんは、値引き交渉を一切せず、生産者がいった値段で買い取ります。熊本から漁師が直接魚を送ってきますが、そこには一切発注がない。漁師がいいと思ったら、何をどのくらい送ってもかまわないという指示しか出していません。

その魚は余りません。社長が、思いを伝えるマイク

パフォーマンスをして売り切ります。作り手のコストは絶対削らない。生産者に利益があって、スーパーも手数料があって、買ったお客も大喜びする。全ての人々が喜ぶ図式を作り出しました。

「全ての人々が喜ぶ図式」私も考えていきたいなと思います。



統括副院長
小沢 浩

成人のお祝い を開催しました

11月14日(月)、コロナ対応の為延期となっていた成人のお祝いを、このたび改めて実施することができました。(法律的には18歳が成人となりましたが、高校卒業年度の為、センターでは引き続き、20歳で人生の節目としてお祝いしていきます。) スーツ姿で凛々しく式典に出席して下さったK様。緊張しながらも、記念品やお祝いの花束をしっかり受け取ってくださいました。ご両親も参列くださり、迫力のある獅子舞や楽しいひょっとこも登場して、皆でK様をお祝いすることができました。(療育主任 宮沢 直美)



還暦・古希のお祝い を開催しました

11月15日(火)に「還暦・古希のお祝い」を行い、6病棟は還暦の方2名・古希の方2名のお祝いをしました。最初は緊張していた利用者様もご家族に会うと表情が和らぎ、歌のプレゼントには笑顔を見せてくださるなど、温かな雰囲気の中で式典を行なうことができました。コロナ禍にあっても、沢山の皆様と利用者様の人生の節目をお祝いできたことは、式典で歌った歌詞のように「なんとなく幸せ」を感じる素敵な時間となりました。(療育主任 美保 弘輔)



秋の行事

9～11月に行われた行事の様子を各担当者よりお知らせいたします。
(編集委員 岩井 理)

デイケアセンター 幼児部遠足

9月22日(木)、コロナ禍で親子揃っての遠足は3年ぶりの実施でした。行き先は「多摩動物公園」。今回の一番の楽しみは「ライオンバス」に乗る事で、バスにつけた餌(肉)を目がけ飛びつくライオンの迫力にみんな大興奮！期待通りと大満足でした。午後からの雨予報もギリギリセーフ。みんなの笑顔がいっぱいの秋の一日を過ごせました。



第1病棟 大遠足

10月26日(水)に第1班、11月2日(水)に第2班を行ないました。テーマは「水族館」です。スイミー絵本のDVDから始まりです。屋外の砂浜ではウクレレの音色を聴きながら海辺を満喫し、屋内会場ではイルカショーや幻想的なクラゲを鑑賞しました。最後は突然現れたジョーズを、皆で手作りした小魚を大きな魚に変えて、力を合わせて退治しました。



第2病棟 大遠足

10月19日(水)に第1班・11月9日(水)に第2班の大遠足を実施しました。今年は「北関東観光ツアー」をテーマに温泉街(足浴)・ゲームコーナー(スマートボール・射的)・オミヴィスタ(映写機)コーナーを巡りました。射的では的に当たり歓声が聞かれたり、足浴ではリラックスされたりとそれぞれのスポットで楽しまれていました。



第3病棟東棟 大遠足

10月6日(木)、今回のテーマは「ミステリーツアー！」。午前中は、行き先のくじをひき一人ひとりチケットを受け取りました。午後は、いよいよバスに乗って出発！大好きなピューロランドや動物園、懐かしい母校などを車窓から眺めました。厚生棟では「太鼓の達人」や「バス」のゲームをし、最後にどこに行ってきたのかみんなで当て合いました。ドキドキワクワクの1日になりました。



第5病棟 大遠足

今年も10月31日(月)と11月1日(火)の二班に分かれて実施しました。今年のテーマは「ムーミン谷の運動会」！おなじみのキャラクターたちが出迎える中、2つのミニゲームをしました。昨今のコロナ禍での運動不足を解消すべく、腕を振りかぶったり、足を蹴り上げたりと、みなさん張りきっていました！



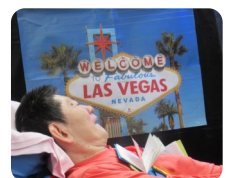
第6病棟 大遠足

10月13日(木)大遠足第2班を行ないました。テーマは「水族館」。海のトンネルを通して利用者様も職員もワクワクしながら始まった大遠足。午前中はアクアリウムの製作、午後は「お魚クイズ」や「海のスヌーズレン」を楽しみました。たくさんの魚たちに囲まれ、本当に海の中にいるような素敵な時間を過ごしました。



第7病棟 大遠足

9月30日(金)西棟・10月3日(月)東棟の大遠足を行ないました。『海外旅行へ行こう』をテーマにタイ・ラスベガス・アマゾンを楽しみました。それぞれの地域のコンセプトに合わせたアクティビティーを楽しみました。もちろんお弁当は機内食！ガパオライスやボルシチなどの世界の味を堪能しました。沢山の思い出作りができた一日となりました。



東京2020パラリンピック

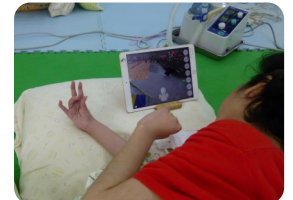
1周年記念イベントと
分身ロボット「OriHime」

8月24日(水)有明アリーナを会場に東京2020パラリンピック1周年記念イベントが開催されました。エキシビジョンマッチで行われた車椅子バスケットの試合を中心にリモートで観賞しました。デイケアセンターと第7病棟が島田療育センターの代表応援団として参加したのですが、この時活躍したのが分身ロボット「OriHime」です。「OriHime」は手元にあるPC等の端末の操作で他者とのコミュニケーションを行うことができ、医療・教育・ビジネスの分野で活用されているツールです。「OriHime」の利点は音声だけではなく簡単なジェスチャーで双方向でのコミュニケー

ションがとれる点で、名前の通りに自分の分身となり気持ちや要求のニュアンスを動きによっても伝えることができます。

当日は試合の観賞の他に、バックヤードの紹介をしていただきました。画面を見つめる目には興味の眼差しがあり、リアルタイムで交わされるコミュニケーションのワクワク感を利用者の皆様と共有できました。

(療育部療育長 清水 信夫)



3年ぶりの開催

自衛消防操法大会に参加しました

10月26日(水)に自衛消防操法大会に参加しました。大会自体はコロナ禍により、3年ぶりの開催となりました。今回は臨床心理士の堀田さん、事務部の鈴木さん、療育部の福元の混成チームでの参加となりました。私は変則勤務があり、なかなか練習時間の確保が難しかったのですが、あとのお二人が穏やかな方で、余計な力を抜いて練習することができました。

行なえ、なんと第三位を取ることができました。これを自分だけの知識にとどめず、それぞれの部署に伝達し、全体の防災意識を高めていけたらと思います。練習の為病棟業務を抜けることもありましたが、協力して下さった方々や応援に来て下さった方々に本当に感謝いたします。

(保育士 福元 翔太)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？
このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。
バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

子どもがお話しをたくさんするようになってきた時期に、「ぼぼぼくやりたい」と言葉を繰り返すことがあります。どのように対応したらいいですか？

A

言葉の発達は個人差が大きいです。2～4歳頃の発達が盛んな時期に「ぼぼぼく」と言葉の一部の音を繰り返す様子や、「ぼーく」と引き伸ばす様子、「・・・ぼく」とつまる様子が見られることがあります。これは「吃音」とよばれる言葉の症状です。お子さんに症状が見られる場合には、「もう少しゆっくり言ってごらん」等の吃音症状の指摘を避け、お子さんの顔を見て言葉

を先取りせず最後までゆっくり聞いてあげることで、お子さんは「伝わった！」と感じ、意欲的にお話をしてくれるでしょう。この時期のお子さんには、このように楽しくやりとりをする経験が大切になります。



しかし、このような関わりは実際に行ってみると意外と難しい場合があるかもしれません。ご心配や関わり方に不安がある場合には、言語聴覚士(ST)や相談機関にご相談頂ければ、お子さんやご家族に合った関わり方をご一緒に考えさせていただきます。

(言語聴覚士 梅津 直比古)

利用者様の居住スペース

季節の彩り



病棟の天井に現れたコウモリの大群たち！
怖くもあり、愛らしくもあり。個性豊かなハロウィンの仲間たちが揃いました！

第14回

島田療育センター集談会を開催しました

11月7日より、センター内での情報共有・発表の場である島田療育センター集談会を開催しました。感染対策の観点から口演発表は事前に動画として収録したものを研修視聴サイトで閲覧できるようにし、ポスター発表は同サイトおよび食堂前通路に掲示しました。今回は12月1日・2日に開催される日本重症心身障害学会学術集会の前に開催日を設定し、学会で発表する予定の演題の掲載も行いました。(集談会運営委員 神田 水太)



学会発表予定の演題も掲示されました。



工夫を凝らしたポスターもありました。

おしらせコーナー



第17回心理講演会



2023年
1月21日 土 10:00~12:00
オンライン講座 ウェビナー方式 ライブ配信



講師 吉川 徹氏 (児童精神科医)
申込締切 2022年12月25日まで

詳細はこちらから

家族向け発達支援講座

いっしょに育てよう！なわとびの土台

なわとびをとぶために必要な体の土台について、作業療法士の視点から具体例を交えてお話しします。

日時 2023年1月19日 (木) 10:00~11:30
場所 パルテノン多摩4F 3・4会議室
対象 就学前後のお子様をもつご家族の方
(東京都にお住まいの方/1家族1名様まで)

詳細・お申し込みはホームページから
(右のQRコードからアクセスできます)



第20回公開シンポジウム

コロナ禍：誰もが当事者として考えたこと

日時 2023年2月11日 (土)
場所 オンラインウェビナー形式

詳細が決まりましたら、ホームページ等でご案内いたします。

地域療育等支援事業のご案内

- ①外来療育等支援事業(療育相談)
当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。
- ②施設支援一般指導事業
発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。
- ③訪問療育等支援事業(訪問相談)
地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。
窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)



9月に黄金に実っていた稲穂は10月上旬に刈り取られ、はざ掛けで天日に干し、11月中旬、ほととの職員さんが手作りの脱穀機でもみの状態になっていました。この先も楽しみです！



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

